

若者からの意見聴取「U39フューチャーセッション@758」 開催報告

1 趣旨

名古屋市次期総合計画の策定にあたり、幅広く市民から意見を聴取する取り組みのひとつとして、若者（18歳以上39歳以下）を対象とするワークショップを開催しました。

2 開催日時・場所

日 時	第1回	平成30年10月25日（木）19時00分～21時00分
	第2回	平成30年11月14日（水）19時00分～21時00分
場 所	名古屋・栄レンタルスペース LIB SPACE （名古屋市中区栄3-7-22 栄928ビル 4階A号）	

3 対象者

名古屋市在住または在勤の18歳以上39歳以下の方で、原則として2回とも参加できる方。

4 参加定員

30名程度

5 参加者数

※申込者数：29人

第1回（平成30年10月25日（木））：22人

第2回（平成30年11月14日（水））：21人

6 検討結果

（1）第1回（平成30年10月25日（木））

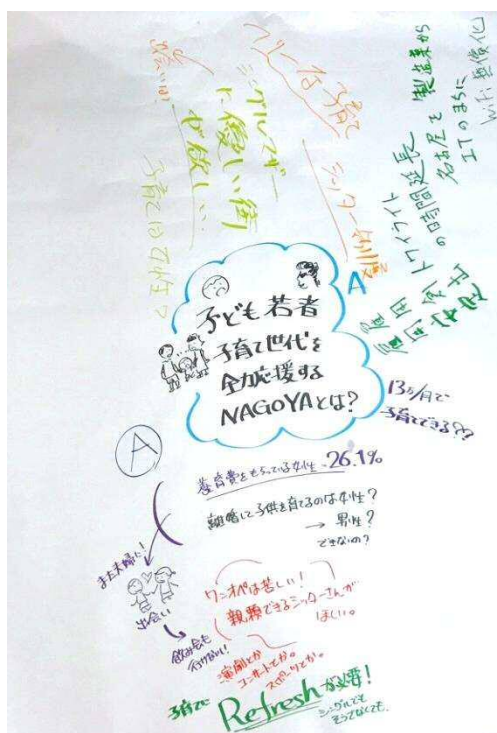
ワールドカフェ

参加者が、次期総合計画中間案の重点戦略に関する5つのテーマの中から興味のあるテーマのテーブルに着いて、話し合い、意見を出し合いました。

（途中でテーブルチェンジし、20分×2ラウンド実施）

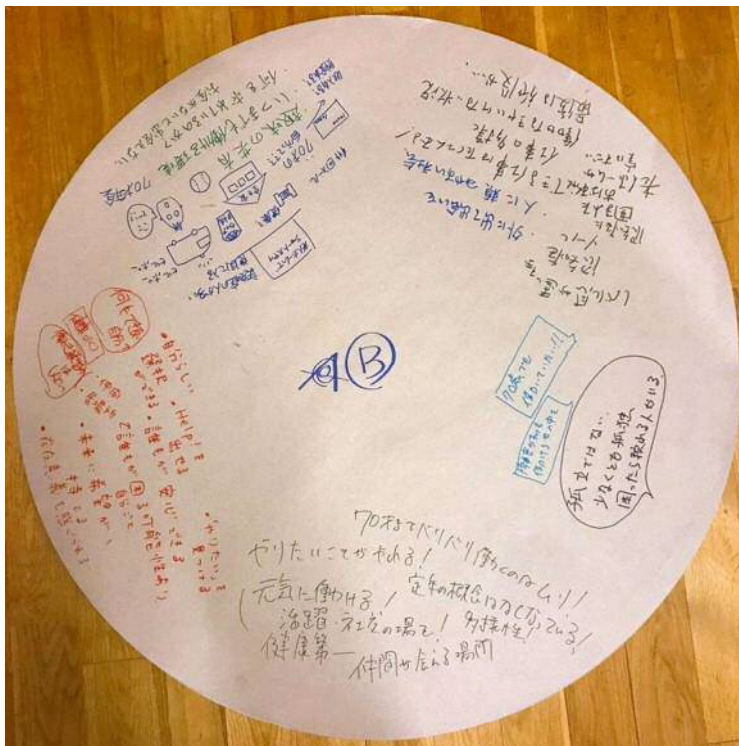
①テーマ：子ども・若者・子育て世代を全力応援！

- ・ 空家の活用として、シングルマザーへ空家の提供をしたいと考えている。
- ・ シングルマザーに優しいまちになってほしい。
- ・ 離婚後、養育費をもらっている女性の割合は26.1%。経済的に困窮している。
- ・ 子育ては女性の仕事なのか。
- ・ シングルマザーへの支援をもっと手厚くするべきでは。
- ・ シングルマザーの家庭では、経済面や時間の面から、演劇やコンサートやスポーツなどの経験に乏しいのではないかな。そういった対策を。
- ・ シングルマザーが一人で子育てしなければならない状況（ワンオペ育児）を変えていかなければならない。シッター制度の充実を。
- ・ もっと子育てが気楽なものになってほしい。
- ・ 子育て中でもリフレッシュできる取組みが必要。それはシングルでも、そうでなくても。
- ・ トワイライトの預かりの時間が短い。時間の延長が必要。学童のような取組みにならないのか。
- ・ 行政として、雇用の創出や雇用の安定を図る施策が必要ではないか。
- ・ シングルマザーが経済的に安定するには、再婚という道も考えられる。そういったマッチングを行政としてやってはどうか。
- ・ 行政主体の婚活であれば、信頼がもてる。
- ・ シングルマザーという言葉には疑問。シングルファーザーもいる。今は「ひとり親」か。
- ・ この地域では、母子家庭の経済状況が他の地域に比べて悪い。それは製造業が盛んな地域であることが影響している。
- ・ 父親について、「子育てに“参加する”」という表現はいかがなものか。父親も当事者であるという意識を高めていくことが必要。



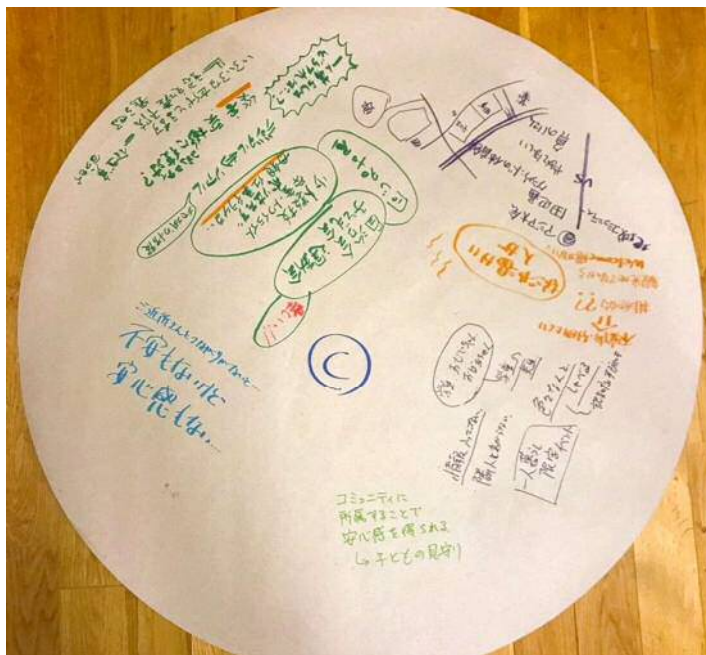
②テーマ：高齢者も障害者も安心！みんなにやさしい福祉の実現！

- ・自分が高齢者になったとき、多様な選択肢があったほうがいい。
- ・自分のやりたいことを見つけられるようになってほしい。
- ・70歳まで会社でバリバリ働いていることは想像できない。
- ・好きで働いている人と経済的に働かざるをえない人を同じと考えて良いのか。
- ・地域に日頃からお願いごとや困りごとが話せる人がいることが大切ではないか。
- ・自分たちは、カップヌードルなど添加物や環境ホルモンの中で育ったので健康でいられるかが心配だ。
- ・健康のことが言われるようになったのは近年のことではないか。
- ・自分の祖父がショートステイに参加したが、新聞紙で兜をつくることに驚き、もう二度と行かないと言っていた。
- ・高齢者をひとくくりで捉えるは難しいのではないか。
- ・両親とは遠く離れたところで住んでいるため、両親が認知症になった場合のケアが心配だ。現状では施設に入れるしか手がないと考えている。



③テーマ：みんなでつくる！地域コミュニティ活性化！

- ・自治会や子ども会が参加する学区の運動会に参加した。普段あまり関わりのない近所の人同士でも、自然と応援しあうことができ感動もできた。運動会が終わった後にはそのままみんなで食事に行くなど関わりが深まった。
- ・北区に住んでいるが、子どもが通うことになる小学校は少人数校である。学童やトワイライトもなく、結果として母親が働けない状況にある。子どもが少ないため子ども会もなく、同じ名古屋市内でもコミュニティが成立するところとしないところがある。
- ・ポケモンGOなどのデジタルを介して人が集まり、リアルにつながる時代になった。デジタルを使って集めた場所でイベントを開催するなどしてコミュニティの強化につなげては。
- ・戦略2に関係するが、認知症の人が増えると介護費が増大し財政を圧迫する。子どもと話すことで老人は認知症にならなくなる。学生や老人など時間のある人に子どもを見てもらえれば認知症予防にも子育てのためにもなるため、そのような事業を立ち上げようとしている。
- ・一人暮らしの人には情報が入ってこず、隣人もわからない状態なのでコミュニティに参加できない。イベントには家族連れや地域団体が参加している印象で、一人では参加しづらい。一人暮らしの人限定のイベントがあれば参加しやすいかもしれない。
- ・アジア競技大会の開催にともなって、テニスコートを潰して体育館を作ると聞いたが、テニスコートは地域の人によく使われており、それを壊すことは地域コミュニティを壊すことになる。また車の通行も増えると予想され、負の遺産をつくることになるためやめてほしい。
- ・名古屋は排他的だとよく言うが、自治会の役をやることになってはじめて知ったが、全く排他的ではない。むしろ人が温かいと感じるが、そうなのだろうか。
- ・コミュニティに所属することにメリットはあってもデメリットはない。メリットとしては、子どもを近所の人が見守ってくれるという安心感。
- ・ご近所との付き合いは一切ない。そのことによる不安もないが、安心感もない。



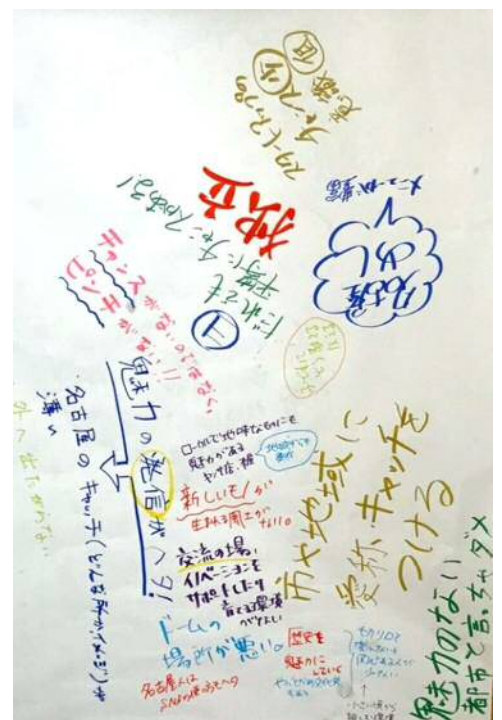
④テーマ：災害に強く環境にやさしい！

- ・ 東日本大震災以来、多少の揺れでも過敏に反応するようになった。名古屋で地震が起きても周りはいそいそと反応はないように思う。防災に対する市民の意識はどうか。
- ・ いざ地震が来たら、どうなるのか、どうするのか。
- ・ 名古屋は東京に比べて、道も広い。しかし地震が来たとき、車を一時停止させて避難することで、道がふさがれて物流がストップしてしまうのではないかと。緊急車両も通れなくなる。
- ・ 会社に社員一人一人の非常食が3日分備蓄されている。賞味期限が近づくと配布され、管理もちゃんとされている。
- ・ 今は会社も備蓄しなければならないが、大きな会社はそれが可能でも、中小企業まではできていない。
- ・ 地震や台風が起こったとき、どうするのか。
→派遣会社だが、「アンピック」というアプリをインストールしていて、震度4以上の地震が来ると自動で通知される。それに安否情報を登録できるようになっているが、全員登録できていないのが現状。災害時は慌ててしまう。
- ・ 北海道地震では、電気が止まった。電気が止まると何もできない。
- ・ 地震だけでなく、猛暑や台風、ゲリラ豪雨など異常気象が続いている気がする。地震だけでなく、そういったものにも対策が必要。
- ・ 特に今年は命に関わる危険があるほどの暑さだった。名古屋は本当に暑い。
- ・ 堀川は、とても汚く、七色に水の色が変わる。堀川の匂いに対する苦情も多い。
- ・ スマホが普及したことで、SNSでの情報発信や最新の情報をすぐ得ることができている一方、非常時でのデマ情報に騙されてしまうことも。良い点もあり、悪い点もある。
- ・ デマ情報対策も今後必要になってくる。



⑤テーマ：チャンスをつかみ成長をつづける！

- ・名古屋は何でも揃っているけど、これといった特徴がない。
→エリアごとの雰囲気大切にしても良いのでは。
→各々の雰囲気を、名古屋の人は知っているけど外の人知らない
- ・名古屋の魅力を何かに特化してPRしたり、キャッチコピーを付けるなどした方がよい。(香川県＝うどん、のようにわかりやすく)
- ・名古屋は魅力があるのに、発信がヘタ。名古屋の人はSNSの使い方もヘタ。
- ・広島では、まちの至るところ(飲食店等)にカープグッズがあり、市民のカープ愛を感じる。名古屋のまちからドラゴンズ愛は感じない…
→ドームの場所が悪いのも原因かな？もっと、まちなかにあれば…
- ・「名古屋市」単独ではなくて、周りの地域も巻き込むべき。
- ・名古屋は安定していて保守的な空気がある。外へ出たがらない。
→危機感がない。「ピンチ」が無いから「チャンス」を生もうともししていない。
→名古屋のピンチは南海トラフ地震ぐらい。雇用もあり安定しているため危機感を感じていない(それでよいのか?)
- ・誰にでも平等にチャンスがあるまちにしたい。
→今の名古屋には、名古屋に来ればチャンスがある」感はない。
→「新しいモノ」が生れる風土がない。
- ・名古屋では、創業・起業・独立する人が“珍しく”見えてしまうぐらい、スタートアップのチャンスが少ない、意識も低い。
→創業・起業したい人が相談できるところ、交流できる場が少ない。あったとしても知らない。
→イノベーションをサポート、育てる環境がない。
- ・コワーキングスペースの料金がなくて使えない。
- ・他県から来る友人を連れていくところがない。
- ・もっと歴史を名古屋の魅力としてPRしては。
- ・やっとかめ文化祭もやっているが、興味のある人しか見に来ない。
→歴史も文化も、切り口を変えないと関心のある人が少ない
- ・子どもに歴史・文化をどう伝えていくか？(子どもにどう興味を持ってもらうか)
→小さい頃から歴史・文化に親しむ環境が必要なのは。自分が子どもの頃は、国語の教科書にも狂言のストーリーが載っていた。
- ・喫茶店(モーニング含め)や本屋など、ローカルで地味なコンテンツにも隠れた魅力がある。地域からもっと発信できるとよい。
- ・カフェや食べ物のイベントなどがあると嬉しい。



(2) 第2回（平成30年11月14日（水））

グループワーク

参加者が5つのグループに分かれ、名古屋をもっとおもしろく、魅力的にする、主語が“わたしたち”の「若者発！758 パワーアップ PROJECT シート」を作成し、最後に全体で発表・共有を行いました。

①グループ名：見直し

PROJECT 名	まじでそーけい？	
PROJECT の目的	若者でつながる、踏み出す、評価する	
PROJECT の内容	■いつ	毎年の方針が出た時
	■どこで	16 区+1
	■なにを	名古屋市の評価と住民の現実を突き合わせ、私達でギャップを埋める！
次の一步は？	総合計画タウンミーティングに参加し、発言する！ テーマごとのタウンミーティングを！	
（発表から補足） ・「いつ」は、特に区政方針が出た時。 ・16 区で顔を合わせてできる場も必要ですが、取り残される人ができるだけ減るよう、ネット上などでも連携してやっていくという意味で「+1」です。 ・テーマごとのタウンミーティング、特に今日のような場を開催すれば良い。		





②グループ名：元氣玉

PROJECT 名	注文をまちがえる喫茶店	
PROJECT の目的	・自分事で他人事にしない ・多様性を認める	
PROJECT の内容	■どこで	喫茶店
	■なにを	誰でもスタッフになり、誰でもお客様になる
	■どのように	学校給食のように、簡単に提供できるメニューにする
次の一步は？	空き店舗を探す（飲食店など）	
（発表から補足） ・「誰でも」というのは、例えば認知症の方や後期高齢者の方、小学生、独身者、10代～30代の若者をイメージしています。 ・メニューは1ヶ月単位で、あらかじめ献立を立てておきます。		





③グループ名：なごむす

PROJECT 名	自創する名古屋プロジェクト
PROJECT の目的	・名古屋人の誇りを取り戻す ・名古屋の魅力を自分達でつくる
次の一步は？	#なごむす
(発表から補足) ・ここにいるみなさん、私達が主体です。 ・みんなで教え合い、教わり合い、発信し合いましょう。発信し合ったものは全てデジタル空間内に。そのデジタル空間は、名古屋の理想のまちができるかもしれない。テレビ塔が赤くなったり丸くなったりするかもしれない。そんなことをやりながら、もしかしたら遠くにいる人は名古屋に来る前に名古屋のデジタル空間に入ること、名古屋を体験でき魅力を知ることができるかもしれない。 ・保育園もつくりたいです。フィールドワーク、参加型・体験型の場所をつくりまします。先生はここにいるみなさん。みなさんは名古屋で働いている、住んでいる、ここに携わっているプロフェッショナルですので、教えることいっぱいあると思います。 ・最初にやっていこうと思うのは、「なごむす」の商品化プロジェクト。7・5・8でお祭りをするので販売もしましょう。 ・こんな経験をして、名古屋愛を育む保育園をつくることで、名古屋が大好きという人が増え、名古屋がますます盛り上がると思います。 ・最初の一步は、「#なごむす」で拡散して下さい。	



④グループ名：Sports

PROJECT 名	No Sports, No Life in NAGOYA !
PROJECT の目的	スポーツが日常に
PROJECT の内容	プロスポーツ×市民・地域 ⇒ 大運動会 ・準備、練習はプロ交えて全員参加 ・観る、する、支える、を全て体験できる
次の一步は？	★プロクラブへの提案 ★市民実行委員会の立ち上げ
(発表から補足) ・なぜプロスポーツチームを巻き込むか？選手のプロフィール、背景、ストーリーを全然知らない。チームや競技から好きになってもらうより、競技をしている人からスポーツを好きになってもらいたいのので、地域の方を巻き込んで、ホームタウン活動の一環として大運動会をできたらと思います。 ・選手だけでなく裏方のフロントスタッフの方も一緒に協力してもらおう。フロントスタッフは広報やチケット戦略を考えている人もいるので、そういう方と一緒に市民をどう巻き込むかを考えてやりたいと思います。	



⑤グループ名：指宿（ゆびやど）

PROJECT 名	おせっ会
PROJECT の目的	身近にイイ男とイイ女が余ってる…!!!
PROJECT の内容	紹介したい独身者が知り合いにいる人（既婚者想定）が登録する制度。安心感がハンパない！見事成婚したら名古屋ウェディング！既婚者同士もネットワークが広がる！ →パパ同士、ママ同士つながるキッカケ
次の一步は？	ターゲットを探す。おせっかいになってみる。
(発表から補足) ・目的は、身近にイイ男とイイ女が余ってる。結び付けたらもっといい社会を目指していけるのではないかとことです。 ・通常の婚活がなかなか成功しないのは、単なる婚活では安心感が無いから。まずは結婚している人どうしのネットワークを作って、そこからの波及で広げられるのではないかと。 ・名古屋市の観光名所で結婚式を挙げて、その際には、市から助成金が出る、紹介した人にもちよつとインセンティブを、という流れができれば。 ・結婚している人同士のつながりによっても経済効果が生まれる。	



7 コミットメント

参加者一人ひとりが、「これまでを振り返って気づき・発見は？」(Awareness) と、「わたしは 758 のために、〇〇を約束します！」(Commitment) をカードに書いて発表を行いました。

①Awareness：これまでを振り返って気づき・発見は？

みんな名古屋に熱い思いがある！おもしろい人がいっぱい！

- ・ こんなにも思いがある人達が溢れているということがわかった。
- ・ 名古屋「愛」と未来を創る「志」を持った人がたくさんいた。
- ・ みんな、名古屋が大好きで、もっと良くしたいと本気で思っていること。
- ・ みんなおもしろー。楽しいこといっぱい。
- ・ 少しずつ名古屋のことが自分事になった。おもしろい同世代の方がたくさんいること。
- ・ 名古屋愛
- ・ 名古屋を想うエネルギーがこんなにも熱かったこと。
- ・ どの階層でも名古屋を変えたい人がいる。
- ・ 名古屋のために、名古屋を変えたいという気持ちを持った人がたくさんいる！
- ・ 名古屋に対する熱い人の多さ。様々な分野に対して課題意識を持っている人の多さ。
- ・ U39、みんな何か課題意識を持って過ごしている。
- ・ 名古屋市をもっと良くするまちづくりを行う、ということにおいて、多種多様な考え方があることがわかった。そして何より実は名古屋に対して熱い思いを持ってる人がたくさんいることがわかった。この出会いを大切にしたい。

いろんな考えがある！考えが広がった！

- ・ それぞれ得意な分野があり、いろいろな意見を聞けたので、楽しかったし勉強になった。
- ・ 様々な人の持ち味、意見を聞くことができて、考え方のジャンルが広がった。
- ・ まずはネーミングで引き寄せ！プロだけでなく、みんなにも原体験があり、ストーリーがある。おもしろい社会人の方がたくさんいること。大人と学生だけで視点は全く違う。
- ・ 短い時間で実行可能な形でまとめられてすごいと思った。改めて多様な考え方があることに気づきました。

ジャンルを超える、話をすることの大切さ

- ・ 皆さんの生活・世代など違い、顔を合わせ、話をするると新しい思考、動きが生まれる！
- ・ 一人で考えた内容にいろんな方の意見や考えが入ることによって、掛け算方式でより良いものができあがっていくことがおもしろいと感じました。
- ・ 語ることの楽しさ！次の一步につなげるには、継続性が必要！
- ・ 違うテーマや考えの人が集まっても、話していくとひとつにまとまっていく。自分では考えつかなかったような名古屋への考えや意見があった。
- ・ ジャンル、分野で区切られる行政、計画、政策→暮らす、生きる人達はジャン

ルを超えるものを求めている。

発信が大事！

- ・ 全員一人ひとり、考えていることがあるので、それをもっと発信していくべきだ！！
- ・ 名古屋の人は魅力を発信するのが苦手？

その他

- ・ まち全体を考えた時、やらなきゃいけない事は、いっぱいある
- ・ 具体的 Action はつながる、“若者”なのかな…36 歳。

②Commitment : わたしは、758 のために、〇〇を約束します。

発信、共有、つなぐ

- ・ 発信する自分の意見を人に伝えること。
- ・ 名古屋がもっと良い街になるように発信していくこと。
- ・ 名古屋の魅力を発信すること＋「#なごむす」
- ・ 名古屋の美味しいものを発信すること。
- ・ ここにいる人のできるだけ多くの人とつながりを作ること、名古屋について情報発信をする。
- ・ 758 を良いまちにするために、小さなことから共有すること。
- ・ 多様性（価値観、言葉、世代）を暮らしの中でつないでいくこと。
- ・ 人と仕事を継げていくこと。
- ・ 「#なごむす」「自創する市民」年1くらいで共創、フューチャーセッションやること
- ・ 市民参加の場に積極的に参加すること。
- ・ タウンミーティング参加してみたいなー
- ・ たくさんの方と関わり続ける。そして関わった方と名古屋を盛り上げるための企画を作る。
- ・ 皆が元気になる施策を実行すること（小さなことからコツコツ）。
- ・ このフロアのみならず同じくらい名古屋を愛する若者を育てていくこと。
- ・ #なごむす 個人、企業、行政区単位での経済力強化。自創する 758。
- ・ デジタル名古屋の実現と、なごむす祭への参加。
- ・ 未婚の友人からターゲットを探すこと。
- ・ スポーツを通じて人の心を豊かにする（＋今回企画した大運動会の実行委員になる）。
- ・ プロスポーツを応援します。スポーツに取り組みます！
- ・ プロという「人」を切り口に、スポーツに興味関心を持ってもらえるようなきっかけを創る挑戦者でいること。
- ・ 名古屋についてもっともっと真剣に考えて知っていくこと。
- ・ なごやをもっと知り楽しく限界突破。
- ・ ナゴヤを好きでいること。
- ・ ナゴヤで 100 年後死ぬこと。
- ・ 名古屋について「つまらない、魅力がないまち」と言わないこと。